

# 鴻島ニュース

あきまつ

中央地区自治会長

長瀬 直

陽春のうらかな季節となりました。会員の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

5月3日の第9回総会におきまして、他の立候補者もなく、図らずも会長の再々任を受ける事になりました。微力ながら、自治会運営に励んで参る所存です。

さて、今回の総会には約50名の出席を賜り、又新しい役員のご協力も増えて、別荘所有者による自主運営組織としてますます充実する事と確信致します。昨年度は大きな道路補修も少なかったため、道路補修基金の積立を減額し、皆様の会費の負担を約8000円減額する事を総会に諮り、承認されました。不景気な社会状況の中、少しでも負担を軽くして欲しいとのご要望もありましたので、諸経費の節約と、無駄をなくした有意義な活動を心がけたいと考えております。今期も会員相互扶助となる自治会活動に、皆様の絶大なご協力・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

第9号  
-2000-  
中央地区  
自治会  
広報委員

## 総会報告

第9回鴻島別荘中央地区自治会定時総会が、連休中の5月3日に開催されました。出席者及び委任状を頂いた方で107名(76%)となり、総会は成立致しました。今回は約50名の参加があり、活発な意見も多数出て、活気のある総会となりました。

総会は、議長に会長の長瀬氏を選出して始まり、平成11年度の行事報告、会計報告があり、了承されました。役員改選で

会長以下全役員の新任が決まり、新たに藪野氏が推薦され、承認されました。続いて、会計案・事業案が提示、検討の上承認されました(別表)。又、

今回は役員会で意見の出ている年会費について総会に諮り、8000円減の2万2000円となる事が出席者全員の一致で承認されました。又、今

回より年度期末を従来の3月末から4月末に変更することになりました。というのは、総会の開催日を皆様の出席しやすい5月連休中にすることになり、従来の3月末期日では、総会前の4月に請求が発生する事になってしまいうから

です。従って、今期より5月始まりの4月末日が会計年度

となり、総会承認後の請求発生となります。

次に、会員の方より会の親睦について様々な意見が出されました。その中で、桜並木の桜を増やして欲しいとの意見がありました。出席者全員の協議の結果、桜並木に面する土地は多数の個人所有に分かれていて、その方々の了解を得るのは物理的に難しいのではないかと意見が出ました。そこで、町の所有している土地なら、町の了解を取るといふだけの問題なので、学校の校庭の周りに桜を50本程植樹してはどうか、という意見にまとまりました。平田事務局より町と折衝した結果、50本の桜の苗木を町が負担して自治会の費用で植樹する事に決まりました。そこで、来年2月頃、皆さん

### 目指せ岡山国体

十七年の岡山国体に向けた選手育成の一環として、県競技強化本部主催の小中学生アーチェリー講習会がこのほど、国体アーチェリー会場となる日生町で行われた。

講習会は、同町寒河の町民体育館で行われ、町内の小学生、中学生計八人が参加。午前中は、県アーチェリー協会の石川直裕国体部長らが実技を指導。小学校二年から中学三年までの参加者たちは、町が小、中学生を対象に開いているアーチェリー同好会のメンバーで、一通りアーチェリーについて学んでいるが、こ



の日はあらためて基本動作をみっちり練習。  
午後からは十メートルの距離から三十六本の矢を射る模擬試合を実施。東小五年の岸本一騎君が優勝した。

### 新聞だより

#### 同好会のご案内

現在、左記の同好会が活動しています。  
会員の皆さんの親睦目的につくられた会です。上手も下手もありません。楽しい一時を過ごしましょう。  
皆さんの参加をお待ちしております。

#### ○土じりの会

備前焼が隣町なので窯元で教えて頂きながら、童心にかえり、泥遊びはいかがでしょうか。  
0794350466  
森田迄(公社)

#### ○魚釣りの会

磯釣り、船釣りを楽しみながら、自慢話に花を咲かせてみませんか。  
樽家紀之

#### ○ゴルフの会

上級者はもちろん、初心者の方も大歓迎です。年に2、3回のコンペで練習の成果を競ってみませんか。  
0664556561  
長瀬迄(公社)

ご一緒に植樹祭を盛大に行いたいと思います。会員の皆様の多数の参加を、早い話で恐縮ですが、お願い申し上げます。  
また、車輛放置問題についてもたくさん意見が出されましたが、結論としては今期より年10万円の基金を作り、

約3年に1度、撤去をするという事で意見がまとまりました。以上の様な事柄で、2時間間の討議検討後、総会は終了しました。

### 会計報告 削除

★会員でない人に

申し上げます。

自治会活動は会員の負担で行われています。別荘地も12年たち道路の補修や溝掃除も会費でまかっています。しかし会員外の人たちは何も負担していません。道路や溝や車の撤去や水道の破損も全て会員たちの負担なのです。折角手に入れた別荘も公共性は高いのです。皆様相応の負担をするのが社会のルールだと思います。島を利用してはぜひ、会員になって頂きたいと思うのですが...

★車両放置は絶対に

やめて下さい。

今季は、車両の撤去を致しません。だんだん増えると思うので邪魔になる事でしょう。撤去費用は自治会で負担していません。中央地区で約40軒の人が会員ではありません。皆様の隣近所で会員外の人が車の使用をしている時、その後放置がないかよく注視して下さい。放置がわかれば自治会で注意したいと思っております。

★火事の予防のお願い

鴻島では過去12年間の間に5回の火事が起こっています。特に強風が急に吹く事もあり、ゴミや落葉等のたき火は絶対しない様に気を付けて下さい。お互いに注意しましょう。

#### 役員名簿(平成12年度)

(会長)長瀬 直

(会計)森 啓充

(監査)寺浦 格・樽家紀之

(事務局長)青野正勝

(理事)平田文夫

森田昌夫・森田孝・浅島俊男

米田稔・桑原高己・三田村敏

行・丹野嘉子・吉田とし子・岩

坂春二・飯田龍平・井上蘭子

松井努・藪野孝治(順不同)

# 観光客をもてなそう

閑谷学校330年

## 石門茶屋オープン



国の特別史跡・閑谷学校の観光客をもてなそうと、備前商工会議所の若手異業種交流グループが備前氏閑谷の県道沿いに計画していた「閑谷・石門茶屋」が四月二十二日オープン。初日からマイカ一の観光客らでにぎわった。

療乱イベントでお土産店に使われた建物を購入、移築した。テナントは、備前焼、海産物、しょうゆ、うどんなど販売する九店舗。他にテナント張りの野菜、鮮魚店なども開

## 備前焼や鮮魚販売

備前会議所 異業種グループ

定期船が行き交い、新鮮な魚介類を求める観光客でにぎわう日生町。港横の高台には町の歴史を伝える日生町加子浦歴史文化館が建ち、人々の暮らしを見守っている。

の建物を移築した資料館（木造二階、延べ二百七十平方メートル）と蔵を模したつくりの文芸館（鉄筋二階、延べ三百メートル）の二棟からなる。名前は日生が江戸時代に公用船などに水や燃料を供給、船のこぎ手・加子役を出した「加子浦」に指定されていたことになんて付けられた。

動。村は神社を建立、みこしを作って祭りを開き豊漁を祈願していたという。しかし昭和二十年、敗戦で状況は一変。住民は韓国からの引き揚げを余儀なくされた。あるみこしと一緒に帰国したいと尽力。何とか持ち帰ることに成功し、帰国後町内の春日神社に寄贈した。同館の目賀道明館長は「みこしを日本へ運ぶときは、韓国の人もちもなんとか協力してくれたと聞いている。今では両国の友好のあかしと思ひ大切にしています」と話していた。

## ミュージアム 探訪

## 日生町加子浦歴史文化館

日生町日生八〇一四

# ネットで備前焼紹介

## 若手で組織・備前陶心会

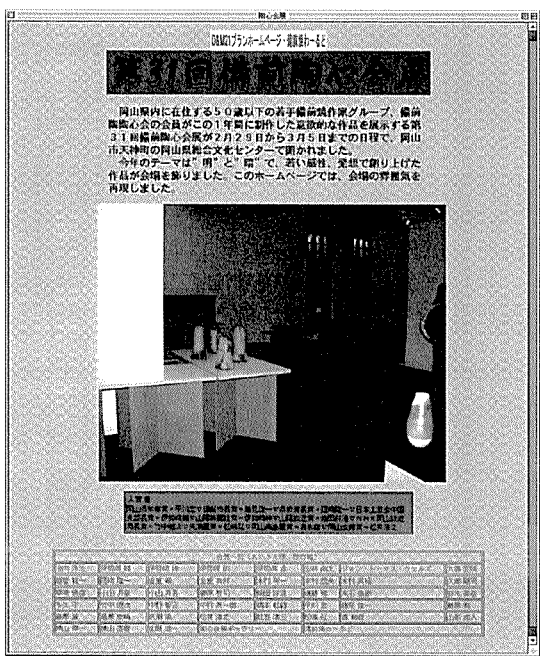
HPの制作はこれまでDM（ダイレクトメール）でのPRや話題提供だけでなく、積極的にインターネットを活用しようとの狙い。岡山市の県総合文化センターで開いている同会展は同市だけの開催のため、「全国の愛好者にも作品を紹介したい」とネットギャラリーを企画。出品会員の名前をクリックすれば、出品作が画面に現れるようにした。

地元ソフト会社社テイさんの協力でホームページを立ち上げたが、今後は備前焼のPR、販売促進にどうインターネットが活用出来るか会員同士で研究していきたいと話している。

HPアドレスは、  
<http://www.tiki.ne.jp/~soae/foushinkaten/index.htm>

若手備前焼作家で組織する備前陶心会（木村茂夫会長、四十三人）はこのほど、独自のホームページ（HP）を開き、ネットギャラリーとして岡山市で開催中の第三十一回備前陶心会展を全国で紹介している。備前焼の作家集団のホームページは初めてで、同会では、今後インターネットによる会員の窯出し情報や個展情報など内容を充実していく計画。

同会は昭和四十三年に設立。五十歳までの作家が集い、意欲的な作品展を毎年開催するなど活動を行っている。



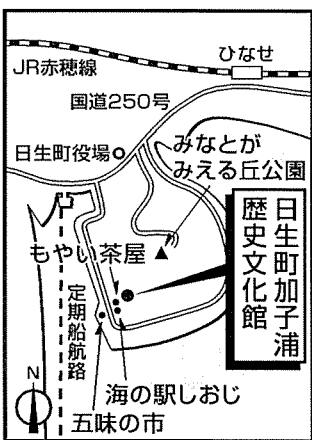
▲作品展を紹介した備前陶心会のホームページ

## 2000 サンバースフェスティバル

〈日生水産業祭〉

雨天決行

- ◆とき 6月3日(日)午前9時30分～午後3時  
式典午前9時～午前9時30分
- ◆ところ 日生港第1工区広場(もやい茶屋前)



JR赤穂線日生駅下車し、歩いて約20分。午前10時～午後5時半開館。火曜日と祝日の翌日は休館。入館料大人150円、子供（中学生以下）70円。電話0869-72-9026

●文化館西側には、魚介類を販売する町漁協の「五味の市」と買った魚を調理できる直売所「海の駅しおじ」、町営郷土料理館「もやい茶屋」があり海の幸を賞味できる。北側の楯越山には展望所・みなとがみえる丘公園。日生港からは日生諸島への定期船が出ている。

状況は一変。住民は韓国からの引き揚げを余儀なくされた。あるみこしと一緒に帰国したいと尽力。何とか持ち帰ることに成功し、帰国後町内の春日神社に寄贈した。同館の目賀道明館長は「みこしを日本へ運ぶときは、韓国の人もちもなんとか協力してくれたと聞いている。今では両国の友好のあかしと思ひ大切にしています」と話していた。